

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（シーランチ）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月1日		～ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2023年 3月 9日		～ 2026年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	面談や電話連絡、送迎時、メール連絡など、保護者の状況に合わせて、家族の困り感や、本人の困り感などをこまめに聞き取りました。子ども家族に寄り添い、前向きに慣れる様に働きかけ支援を行いました。	登園回数のない家庭にも電話連絡、メール連絡を行いました。子ども家族の様子を共有しました。	面談や電話連絡などが難しい家庭には、引き続きメールや保護者の都合の良い時間に電話する等、積極的に関わっていきます。必要場合は家庭訪問を行います。
2	必要に応じて小学校に訪問し、子どもや家族の様子を学校職員と共有しています。送迎の際には、様子を引き継ぐなど意識しています。学校での様子を保護者から聞き取り、本児とのやり取りの中で、本児の困り感に寄り添っています。	登園時に子どもの様子を見て、聞き取りをしています。本児の本心を聞き取り必要な場合は保護者に連絡をしています。お友達との関わりの中で安心感を得る事が出来る様に支援しています。	引き続き、子どもとのやりとりを意識し、安心安全な環境で支援を行います。必要に応じて学校の様子を担当職員から引き継ぎます。
3	発達に合わせた活動を行っています。社会スキルの練習を行い、集団での活動での成功経験を増やします。必要に応じて、集団活動、個別活動を組み込み、安心安全な支援を行っています。	フロントやミーティングでスキル練習と当日の活動を伝えています。見通しが持てる様にしています。必要に応じて個別で伝えています。	職員が子どもを理解し、また当日の様子なども見ながら、必要に応じて臨機応変な対応を心掛けます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子発達支援等保護者同士の横のつながりの機会がありましたが、つながりが弱い面がありました。	グループカウンセリングの参加を呼び掛けていましたが、参加する機会が少なかったと思われます。	保護者がグループカウンセリングに参加しやすいように、学ブリーのお知らせだけでなく、事前に電話やメール等で連絡する機会を増やしていきます。
2	定期的に利用していない児童に対して、関わりが浅くなっていると感じさせてしまうことがあった。	定期的に参加していないには、保護者には電話連絡をしていたが、本人への働きかけが弱かった。	電話連絡の際に本人にも声を掛けたり、登園時に積極的に関わるなど、大人の側から働きかけていきます。
3			